

個人5

受 令和 3 年 11 月 24 日
付 午前 9 時 00 分

一般質問（代表・個人） 通告書

令和 3 年 11 月 24 日

尾張旭市議会 議長 殿

氏 名 早川八郎

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 12 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 5 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>1</u>	ドローン（無人航空機）事業と本市の未来構造について
要 旨	<p> 新型コロナウイルス感染症拡大により、生活、働き方、教育など様々な場面の在り方が大きく変わりつつあります。その中でもドローンの新たな可能性は、計り知れないと感じる。そこで、ドローン事業と本市の未来をどのように重ねていくのかを伺う。 </p> <p> (1) 財政力向上構造のための変革について </p> <p> ア 企業誘致的発想について ドローン学校、ドローン実証実験会場など企業誘致的発想を視野に入れ、本市の未来に役立てては？ </p> <p> イ スタートアップ企業との連携について スタートアップ企業とドローン事業による連携の考え方について伺う。 </p> <p> (2) 災害対策とドローン事業について 災害訓練や災害遠隔実験などのドローン事業を公共民間問わず、幅広く連携し未来の災害対策事業としては？ </p> <p> (3) 公共施設の改修等の利用について </p> <p> ア ドローン利用による公共施設などの改修の適正化について 公共施設の改修などとドローンの連携により、価格や工期の適正化を図るための事業として確立しては？ </p> <p> イ 様々な可能性との連携について イベント、教育などあらゆる場面で新たな活躍が期待できると考える。待ちの姿勢ではなく、攻めの姿勢で進めては？ </p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	ゾーン30プラスと本市の未来の交通問題解決について
要 旨	<p>ゾーン30についてはその取組が広がり、担当部局の熱意を感じる。そして、その取組が新しい発想のもと（ゾーン30プラス）進んでいると思う。</p> <p>そこで、更なる取組について以下伺う。</p> <p>(1) 現状について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 指定地区の広がりについてイ 設置に対する効果についてウ 設置に対する課題について <p>(2) 今後の展開について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 更なる地区の広がりについてイ 効果・課題に対する改善対策についてウ 可搬型ハンプによる社会実験についてエ 可搬型ハンプだけでなく別の社会実験についてオ 社会実験によるビッグデータの活用の詳細について

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>3</u>	保育園・小中学校の危険管理について
要 旨	<p>先日、長野市の小学校で石碑が倒れ、下敷きになった児童がけがをした。石碑は今年11月初めの点検では異常はなかったということだったが、その映像を見ると鉄筋が入っておらず、何年もの間本当の意味での点検がされてなかったのではないかと感じた。そこで、本市の保育園・小中学校の危険管理について以下伺う。</p> <p>(1) 本市の保育園・小中学校の施設危険管理体制について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 保育園はどのような体制になっているのかイ 小中学校はどのようなになっているのかウ 現在危険箇所はないのか <p>(2) 今後の問題点と対応について</p> <ul style="list-style-type: none">ア いち早く問題点を把握する方法についてイ 学校利用者との連携について

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>4</u>	インボイス制度と本市の財政について
要 旨	<p>2023年にインボイス制度が導入され、消費税免税事業者がとるべき対応が変わってきます。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) インボイス制度周知について</p> <p>2023年に事業者は、インボイス制度が導入されることは分かっていると思うが、現在コロナ禍で事業継続が必死の中、果たしてそこまでの対応ができているのだろうか？そこで行政として、この制度を広く事業者に周知し、安定した事業継続をバックアップする体制を今のうちから整えなければならぬと思う。本市としてどのような体制で臨むのかを伺う。</p> <p>(2) インボイス制度導入による本市の財政の変化について</p> <p>この制度が導入されると本市の財政にも幾らかの影響を与えると思われる。その対応と今後の取組について伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>5</u>	健康二次被害予防について
要 旨	<p>コロナ禍に伴う外出自粛等による健康二次被害から国民を守る「健康二次被害防止コンソーシアム」が2021年4月に設立された。その内容として、運動不足・人との関わり合いが減ると、免疫機能が活性化できずに、免疫力が低下すると言われている。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 健康二次被害の情報発信について</p> <p>(2) ステイホームでの「免疫力低下」による健康二次被害とその予防について</p> <p>(3) ステイホームでの「社会的フレイル」による健康二次被害とその予防について</p> <p>(4) ステイホームでの「座りすぎ」による健康二次被害とその予防について</p> <p>(5) 健康都市としての積極的取組について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。